

大地震に備えた高速道路網の早期構築について

【担当省庁】国土交通省

東日本大震災の救援では、自衛隊等の緊急車両の通行や救援物資の輸送などに高速道路が重要な役割を担いました。

太平洋沿岸は大規模地震の発生が最も懸念される地域であり、また名神高速道路は多数の断層上を通過していることから、大地震に備えた高速道路網を早期に構築する必要があるため、次のとおり提案します。

＜京都府からの提案＞

1 太平洋側の大地震に備えた日本海側リダンダンシールートの早期確保

○ 京都縦貫自動車道の早期完成

◇ 京都第二外環状道路（平成 24 年度完成）

◇ 丹波綾部道路（平成 26 年度完成）

○ 舞鶴若狹自動車道の早期完成（平成 26 年度完成）

○ 鳥取豊岡宮津自動車道の早期整備

◇ 与謝天橋立 I C～大宮森本 I C（平成 20 年代半ば完成）

◇ 京丹後～鳥取の直轄事業化による早期整備

2 大地震に備え、日本の物流の大動脈である 名古屋～大阪間の欠落区間の早期連結

○ 新名神高速道路の早期整備

◇ 城陽～八幡（平成 2 8 年度完成）

◇ 「大津～城陽」及び「八幡～高槻」の早期着工

路 線 名			要 望 内 容
高規格幹線 道路	京都縦貫自動車道	京都第二外環状道路	大枝 IC～大山崎 JCT の事業促進 (平成 2 4 年度完成)
		丹波綾部道路	京丹波わち IC～丹波 IC の事業促進 (平成 2 6 年度完成)
	新名神高速道路	城陽・八幡間	事業促進 (平成 2 8 年度完成)
		大津・城陽間 八幡・高槻間	早期着工
	舞鶴若狭自動車道	小浜・敦賀間	小浜 IC～敦賀 IC の事業促進 (平成 2 6 年度完成)
地域高規格 道路	鳥取豊岡宮津自動車道	野田川大宮道路 京丹後・鳥取間	平成 2 0 年代半ば完成 直轄事業化による早期整備

【京都府の担当部局】

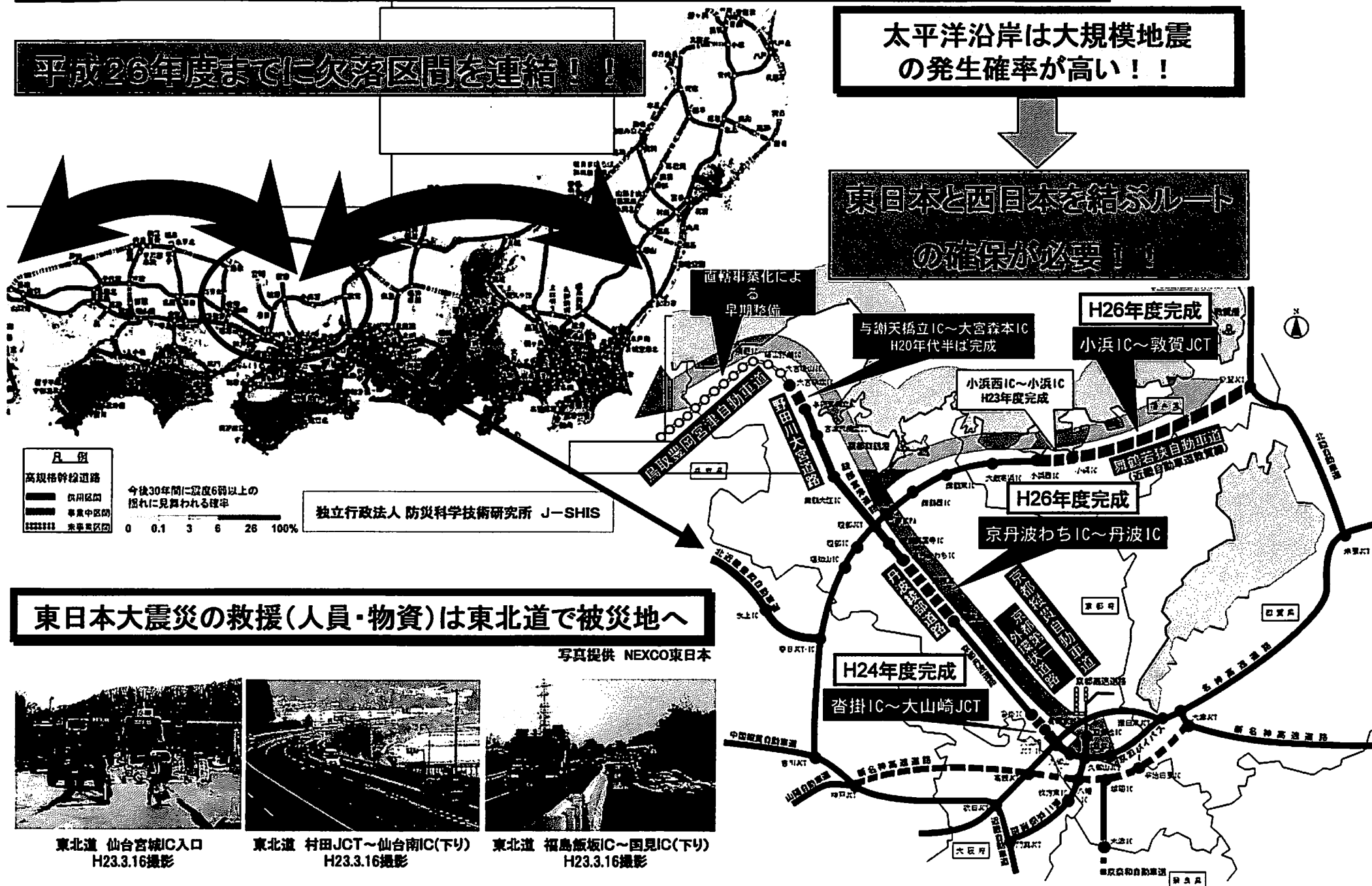
建設交通部 道路計画課 075-414-5246

太平洋側の大地震に備えた日本海側リダンダンシー routes の早期確保

平成26年度までに欠落区間を連結！！

太平洋沿岸は大規模地震
の発生確率が高い！！

東日本と西日本を結ぶルート
の確保が必要！！



東日本大震災の救援(人員・物資)は東北道で被災地へ

写真提供 NEXCO東日本



東北道 仙台宮城IC入口
H23.3.16撮影



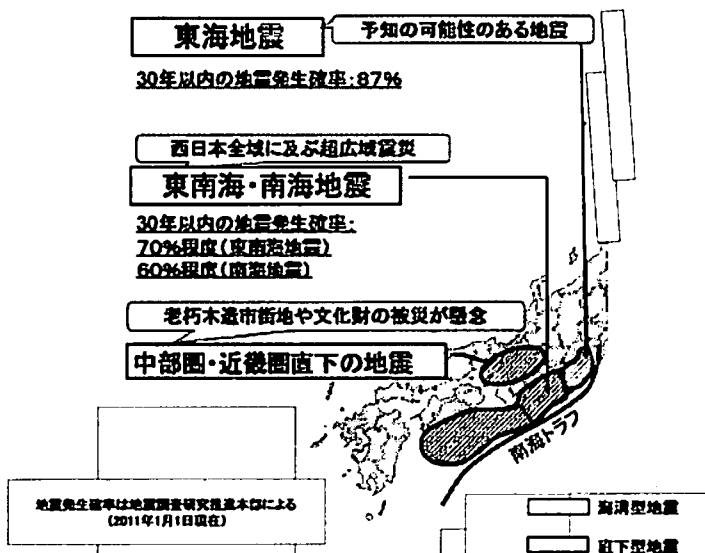
東北道 村田JCT～仙台宮IC(下り)
H23.3.16撮影



東北道 福島飯坂IC～国見IC(下り)
H23.3.16撮影

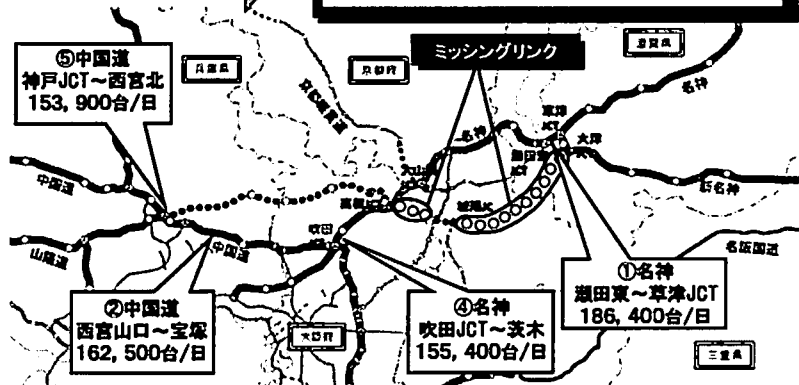
大地震に備え、日本の物流の大動脈である名古屋～大阪間の欠落区間の早期連結

西日本で懸念される大地震



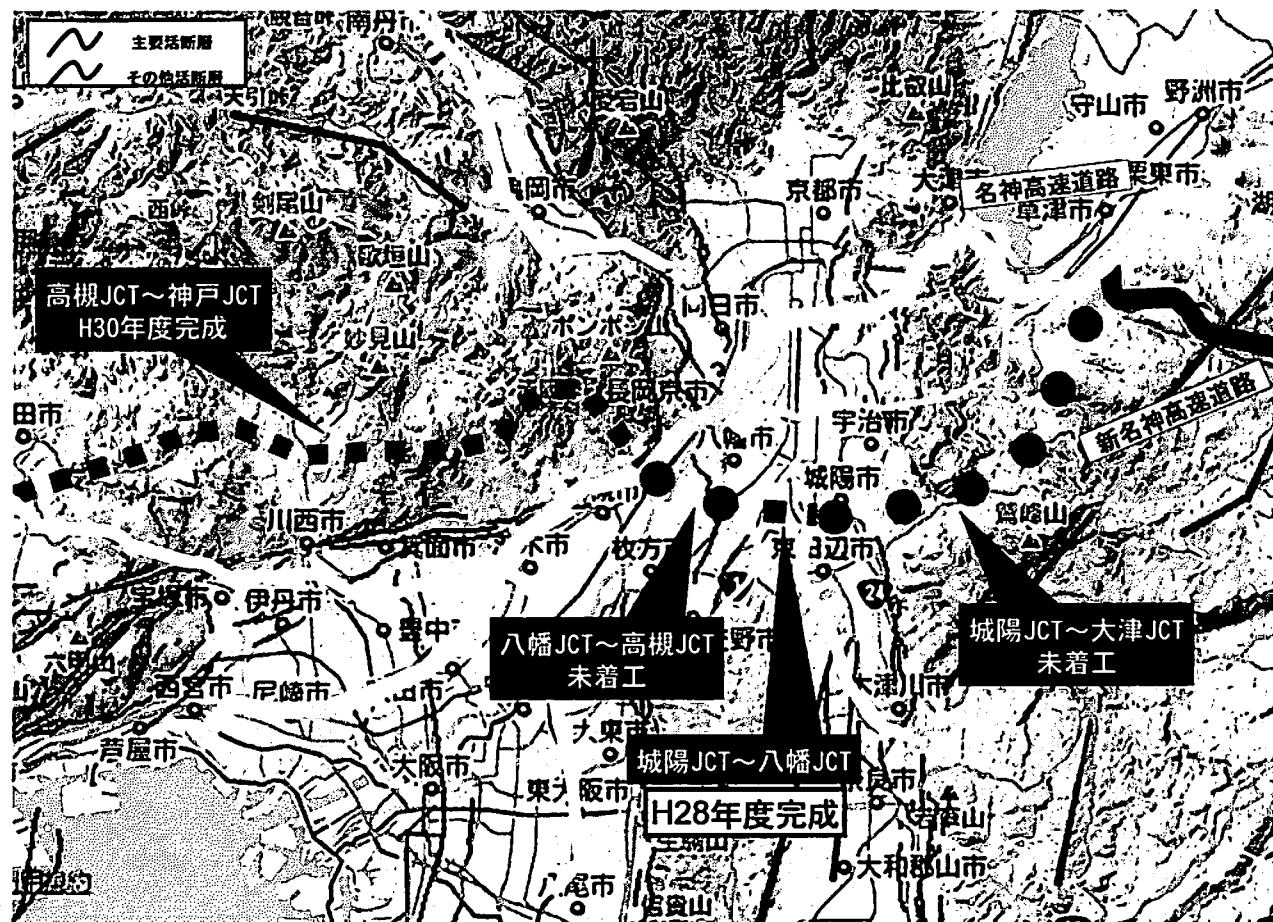
全国1位の交通量は、未着工区間

これぞミッシングリンク



H23ゴールデンウィーク中における最大日交通量の
全国順位ベスト5のうち4区間は大阪近郊に集中

名神高速道路は多数の活断層上に存在！！



新名神高速道路で地震に強いルートを構築

欠落2区間の早期着工が必要！！